

守口市水道ビジョン2023(案)に係るパブリックコメントの意見と守口市水道局の考え方について

【募集期間】 令和5年2月10日(金)～令和5年3月13日(月)

【募集方法】 広報もりぐち2月号及び市ホームページに募集概要を掲載し、メール、郵送、FAX、各公共施設に設置の応募箱への投函により受付

【件数】 1件(4項目)

ご意見に対する本市水道局の考え方を下記のとおり記載しています。

	ご意見	本市水道局の考え方
①	本編P10、P12 図3-1 給水人口が令和1年度で増加し、令和2年度で平成30年度水準に戻っています。にもかかわらず、用途別有収水量については、図3-2を見ると家事及びアパート用の水量は令和1年度では、前年度同様であり令和2年度は増加し令和3年度では減少するも平成28年度水準となっています。コロナ禍によるテレワークだけでは説明できないように思いますか？	家事及びアパート用水量の増減につきまして、あくまで本市水道局の推察として「コロナ禍の影響によるテレワーク等」を一般的かつ主要な要因とし、挙げております。
②	本編P14 収支不足は損益勘定留保資金等で補填していますとありますが、損益勘定留保資金の現在高とこの間の推移はどのようになっていますか？	損益勘定留保資金(当年度分)の現在高は808,215,462円です。 現時点で令和4年度分の現在高は確定していないため、令和3年度分を現在高として挙げております。 また、平成29年度から令和3年度までの推移は以下のとおりです。 平成29年度 900,562,588円 平成30年度 813,480,503円 令和元年度 925,478,966円 令和2年度 793,730,333円 令和3年度 808,215,462円

	ご意見	本市水道局の考え方
③	<p>本編P17 表3-5 水源水質の保全と良質な水の確保に対応する業務指標の各業務指標と単位がよくわかりません。説明が必要と思いますが？</p>	<p>巻末資料に本水道ビジョンに掲載しております各指標の説明を掲載しました。</p>
④	<p>本編P42 表6-3 水質監視体制の強化に対応する業務指標ですが、P17の表によると平成24年度が45項目で、令和3年度が44項目となっており、表6-3では令和14年度に再び45項目となっています。どの項目が減り、再び増えたのか教えてください。また、その理由は何でしょうか？</p>	<p>増減している項目につきましては、水質管理目標設定項目の一つである臭気強度(TON)であり、当該項目は水道法で定められている「水質基準項目」を補完する目的で設定されたもので、この臭気強度の検査は複数人の検査員が同じ臭気びんで官能検査を行うことから、新型コロナウイルスの感染リスクを避けるために、令和2年度から検査を行っていません。令和14年度につきましては、現時点では未定ではあるものの、新型コロナウイルスの取扱状況を踏まえ、通常どおりの45項目としております。</p>